

平成 1 9 年 度

高瀬川河川事務所 事業概要

平成 1 9 年 3 月 3 0 日

国土交通省 東北地方整備局

高瀬川河川事務所

※記者発表会：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

《問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 高瀬川河川事務所

八戸市石堂三丁目 7－1 0（TEL 0 1 7 8－2 8－7 1 3 5）

河川副所長 梅森 雄一（内線 2 0 4）

工 務 課 長 伊藤 武志（内線 3 1 1）

平成19年度 事業概要

1. 予算概要

平成19年度の事業費は、当初予算で総額5億3千5百万円（対前年度比1.25）です。

（単位：百万円）

予 算 科 目		平成19年度	平成18年度	増 減	H19/H18
河 川	改 修 費	120	147	△ 27	0.82
	維 持 修 繕 費	295	282	13	1.05
	工作物関連応急対策事業費	16	—	—	—
	総合水系環境整備費	83	—	—	—
	災害復旧費	21	—	—	—
計		535	429	106	1.25

2. 管理・維持

高瀬川水系における高瀬川河川事務所の直轄管理区間は、河口より小川原湖・七戸川合流点までの40.1kmです。

河川管理施設としては湖岸堤防、排水機場及び水門・樋管等が施工されており、高瀬川の洪水防御を目的とした堤防除草や水門等の点検・補修を実施し、河川管理施設の適正な維持管理に努めます。

また、雨量・水位・流量など水理水文観測を行い、水防、洪水予報などの防災情報の提供による地域防災に役立てます。



排水機場



総合観測所



天端補修



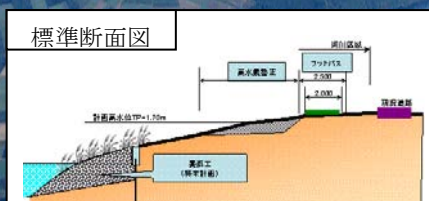
除草

3. 環境整備事業

小川原湖の良好な自然環境を活かし、安全に自然観察学習や湖周辺の散策ができるよう、フットパス整備を行うとともに、自然環境（植物・鳥類等）・景観等に関する仏沼地区の情報発信、活動拠点として、また遠方から仏沼地区へのアクセス向上をはかるための拠点として高水敷整正を行います。



整備イメージ



標準断面図



オオセッカ

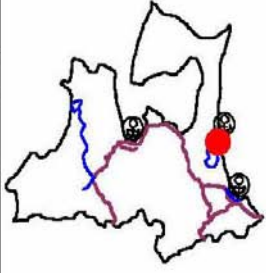
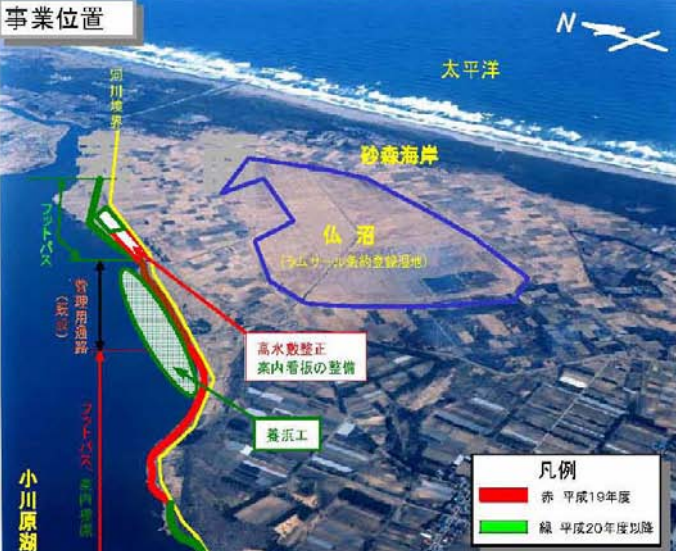
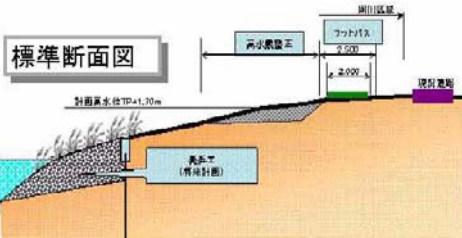
4. 調 査

◎堤防の浸透などに対する安全性を確認するための詳細点検を、平成19年度は中志地区、平沼地区、砂土路地区において実施し、H17年度から実施している点検が完了します。

◎河川の適正な利用及び水質の保全を目的として、河川巡視、水質監視を実施するほか、環境に関する基礎データ収集のための各種調査、治水事業に関する設計等を実施します。

美しい東北の実現

東北らしい自然環境との共生

事業名	^{たかせがわ} 高瀬川水系直轄総合水系環境整備事業 ^{ほとけぬま} 【仏沼地区利用推進】(直轄) ^{みさわ} (青森県三沢市)
事業着手:平成19年度	完成・供用の目標年度:平成22年度完成予定
事業の必要性・事業の概要	青森県 
「事業の必要性」 仏沼地区は、平成17年11月にラムサール条約登録された仏沼湿原の隣接地区であり、今後、仏沼周辺の野鳥観察等を目的とした利用客の増加が見込まれています。 仏沼地区の小川原湖畔も、自然観察、野鳥観察のための利用者増加が見込まれていますが、湖周辺を散策できるルートが連続しておらず、案内看板等の利用推進施設の設置など、利便性の向上が望まれています。 「事業の概要」 仏沼地区において安全に自然観察学習や湖周辺の散策ができるよう、フットパス整備を行うとともに、仏沼地区の情報発信、活動拠点として、また遠方から仏沼地区へのアクセス向上を図るための拠点として敷地造成(駐車場としても利用可能)を行います。	
事業位置 	整備後イメージ 
現地観察会の状況 	標準断面図  仏沼周辺にすむオオセッカ 
平成19年度事業費及び事業内容	
○事業費:83百万円 ○平成19年度は高水敷改正とフットパス整備を行い、早期に利便性が向上するように努めます。	
事業効果	
○小川原湖～仏沼～砂森海岸までの一体的な自然観察学習、保全活動が可能となります。 ○湖岸を1周出来るフットパスが整備されることにより、小川原湖全体を利用できる環境が整います。	